

# 令和4年度の事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

法人名 特定非営利活動法人

ひろしまチャイルドライン子どもステーション

## 1 事業の成果

以下の事業を実施した。

- ・毎週月、金、土曜日（広島会場）木曜日（福山会場）、月3回水曜日（東広島会場）、日曜日月1回16時～21時、全国統一フリーダイヤルと県内限定特設ダイヤルで開設し、「チャイルドライン事業」を実施した。全国統一フリーダイヤルは、10,753件、県内限定特設ダイヤルでは109件の電話を受けた。オンラインチャット相談を月2回定期開設し、539件対応した。
- ・広島県子供の権利擁護事業業務を受託し、アドボケイトの派遣、研修事業を行い、西部こども家庭センター、東部こども家庭センターの一時保護所にアドボケイトを派遣し、「子どもの権利条約」の啓発や子どもの話を聴き、子どもの意見が実現するよう支援した。
- ・受け手ボランティア養成講座を広島市、東広島市の2か所で開催し、9名の受け手が誕生した。
- ・現受け手、支え手の継続研修はアドバイザーを交えて実施した。
- ・3月11日、報告会&コンサートを開催。
- ・8月28日～9月4日中四国エリアで24時間キャンペーンを行い、198件受信。16時～21時位以外に31件受信。
- ・子どもたちには、カードを配布し、チャイルドラインの電話番号を知らせた。大人には、報告書、通信、リーフレットを配布した。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
① 日常的に「子どもの声」を聴く事業	18歳までの子どもの話を電話で聴く。(フリーダイヤル)	(A)月、木、金、土曜日、月3回水、月1回日曜日16時～21時 (B)広島市、福山市、東広島市 (C)50名	(D)18歳までの子ども (E)全国の子どもを対象	1,921
	カード作成、配布	(A)年間 (B)広島県内 (C)15名	(D)県内の子ども (E)子ども35万人	500
	アドボカシー事業 (広島県委託事業)	(A)毎週月、木曜日13時～15時	(D)西部こども家庭センター、東部	3,853

		(B) 広島市、福山市 (C) 9名	こども家庭センターの一時保護所の子ども (E) 375名	
② 「子ども電話」の運営スタッフや電話の受け手など「子ども電話」に携わる人材育成のための研修事業	受け手ボランティア養成講座 (14 講座)	(A) 5 月～8 月 (B) 広島市 (C) 10 名	(D) 広島市周辺の市民 (E) 7 名	330
	受け手ボランティア養成講座 (14 講座)	(A) 10 月～1 月 (B) 東広島市市 (C) 3 名	(D) 東広島市周辺の市民 (E) 7 名	219
	受け手、支え手継続研修	(A) 年間 (B) 広島市、福山市、東広島市 (C) 15 名	(D) 受け手支え手 (E) 50 名	259
③ 「子ども電話」への社会的認知を高める事業	報告会&コンサート	(A) 3 月 11 日 (B) 広島市 (C) 15 名	(D) 関心のある大人、子ども (E) 85 名	82
	リーフレット、報告書作成、配布 ホームページ管理費	(A) 年間 (B) 広島県内 (C) 10 人	(D) 県内の子ども、市民 (E) 子ども大人多数	246

(2) その他の事業は実施しなかった。

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の金額 (単位：千 円)

(備考)

- 1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。

令和4年度 活動計算書  
令和4年4月1日 から 令和5年3月31日まで  
特定非営利活動法人 ひろしまチャイルドライン子どもステーション(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益		(小計)	(総計)
1 受取会費			
正会員受取会費	270,000		
活動会員受取会費	235,000		
支援会員受取会費	237,000	742,000	
2 受取寄付金			
受取寄付金	414,850		
FD電話代受入評価益	580,302		
施設等受入評価益	10,620	1,005,772	
3 受取助成金			
受取民間助成金	1,147,256		
広島市補助金	300,000		
三次市委託金	180,000	1,627,256	
4 事業収益			
チャイルドライン事業	157,070		
研修事業	306,000		
社会的認知を高める事業	179,000		
受託事業収益	6,456,409	7,098,479	
5 その他収益			
アドボカシー事業から事務所経費	530,957	530,957	
雑収入	15,005	15,005	
経常収益計			11,019,469
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費	0		
人件費計		0	
(2)その他経費			
諸謝金	2,951,934		
旅費交通費	1,249,891		
印刷製本	129,392		
電話代	320,797		
FD電話代受入評価費用	580,302		
施設等受入評価益	10,620		
家賃	995,220		
保険料	24,320		
会場費	171,440		
講師宿泊、食事代	21,221		
宣材費	788,726		
資料代	24,257		
雑費	141,551		
その他経費計	7,409,671		
事業費計		7,409,671	
2 管理費			
(1)人件費	648,000		
人件費計	648,000		
(2)その他経費			
交通費	44,100		
行動費	32,720		
通信費	524,932		
事務用品費	204,911		
水道光熱費	149,133		
印刷費	164,016		
会議費	67,243		
対外拠出金	32,000		
設備費	1,263,821		
減価償却費	79,132		
雑費	23,199		
事務所経費(家賃他)	530,957		
その他経費計	3,116,164		
管理費計		3,764,164	
経常費用計			11,173,835
当期経常増減額			△154,366
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			△154,366
前期繰越正味財産			1,009,149
次期繰越正味財産額			854,783

今年度は、その他の事業を実施していません。  
計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日1部改正  
NPO法人会計基準協会)によっています。

令和4年度貸借対照表

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人 ひろしまチャイルドライン子どもステーション

科 目 ・ 摘 要	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	543,349		
未収入金	60,000		
前払金	12,000		
流動資産合計		615,349	
2 固定資産			
什器備品	264,735		
固定資産合計		264,735	
資産合計			880,084
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	20,186		
預り金	5,115		
流動負債合計		25,301	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			25,301
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産額		1,009,149	
当期正味財産増加額		▲154,366	
正味財産合計			854,783
負債及び正味財産合計			880,084

計算書類の注記

1、重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日、2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会)によっています。

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却しています。

事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。(単位:円)

部門	日常的に「子どもの声」を聴くチャイルドライン事業	研修事業	社会的認知を高める事業	事業部門計
Ⅱ 経営費用				
(1) 人件費	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0
(2) その他の経費				
諸謝金	2,420,000	498,523	33,411	2,951,934
旅費交通費	1,062,430	187,461		1,249,891
印刷製本	37,518		91,874	129,392
電話代	320,797			320,797
FD電話代受け入れ評価費用	580,302			580,302
施設等受入評価費用		10,620		10,620
家賃	995,220			995,220
保険料	24,320			24,320
会場費	60,920	85,570	24,950	171,440
講師宿泊、食事代		14,946	6,275	21,221
宣材費	632,310		156,416	788,726
資料代	15,677	8,580		24,257
雑費	124,310	2,042	15,199	141,551
その他経費計	6,273,804	807,742	328,125	7,409,671
経常経費計	6,273,804	807,742	328,125	7,409,671

固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 備品(パソコン)	220,320	0	-	220,320	220,319	1
	334,400	0	-	334,400	69,666	264,734
合計	554,720	0	-	554,720	289,985	264,735

施設の提供等物的サービスの受け入れ内訳

内容	金額	算定方式
チャイルドラインフリーダイヤル電話代	580,302	広島が受信した全国ダイヤルの電話代をNTTから支援センターに請求があり支援センターが支払った金額
継続研修会場費	10,620	下見福祉会館、寺西地域センター使用料が減免

令和4年度 財産目録

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人ひろしまチャイルドライン子どもステーション

(単位:円)

科 目		金 額	
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金		24,767	
普通預金	広島銀行	248,798	
	広島銀行	3	
	広島銀行	258,541	
郵便貯金	通常貯金	10,760	
	郵便振替	480	
前払金	福山会場家賃	12,000	
未収入金	三次委託金	60,000	
			615,349
流動資産合計			
2 固定資産			
什器備品		264,735	
固定資産合計			
資産合計			
			880,084
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	電話代等	20,186	
預り金	源泉税	5,115	
流動負債合計			
			25,301
2 固定負債			
固定負債合計			
			0
負債合計			
			25,301
正味財産			
			854,783

この写しは、原本と相違ないことを証明する。

令和5年5月30日

特定非営利活動法人

ひろしまチャイルドライン子どもステーション

理事長 上野和子